

16NJ ISTカタログ



目次

目次.....	2
IST（国際サービスチーム）員とは.....	3
ISTとしてジャンボリーに参加する意義.....	3
ISTカタログとは.....	3
第16回日本ジャンボリーについての概要	4
テーマ.....	4
コンセプト.....	5
会期・日程.....	5
高校生年代のIST（VS-IST）について.....	6
ISTの生活などについて	7
確定申込における配属希望部署の選択.....	8
I. 予定申込時に配属希望選択を行った方.....	8
II. 予定申込を行っていない方、予定申込で配属先希望を選択していない方.....	9
III. VS-ISTに関係する選択.....	9
各部の業務について	10
業務選択 コード及び名称一覧.....	10
【定員】J-01-00 派遣団サポート部.....	11
J-01-50 ホームステイ部.....	12
J-02-00 サブキャンプ部.....	12
J-03-00 ヒューマンリソース部.....	13
J-04-00 ゲストサービス部.....	13
J-05-00 マーケティング・コミュニケーション部.....	14
J-06-00 情報通信技術部.....	14
J-07-00 オンサイト（場内）プログラム部.....	15
J-07-50 宗教部.....	15
J-08-00 オフサイト（場外）プログラム部.....	16
J-09-00 広島ピースプログラム部.....	16
J-10-00 セレモニー部.....	17
J-11-00 安全・救護部.....	17
J-12-00 会場運営部.....	18
J-13-00 輸送部.....	19
J-14-00 配給・食堂（フード）部.....	19
J-14-50 販売サービス部.....	20

I S T（国際サービスチーム）員とは...

I S Tとは、基本実施要領の5頁にあるとおり「大会運営スタッフ」の一員で、JMT/JCT/JDT¹などと共に、大会の運営に携わります。他の大会本部要員との最大の違いは、大会事前の準備ではなく、ジャンボリー期間中の運営を中心とした業務になります。

I S Tは国際サービスチームの英語名の略で、世界スカウトジャンボリーの運営にならったものです。I S Tは外国隊の対応や通訳の方を対象としたものではなく、広く従来の大会本部要員を指す用語です。世界スカウトジャンボリーの場合、大会の運営にホスト国（今回で言えば日本）のスカウト・指導者だけではなく、広く外国からのスカウトや指導者も一緒に大会の運営に協力することからこのような名称を用いています。以下、大会本部要員の国際サービスチームは「I S T」と表記します。

I S Tとしてジャンボリーに参加する意義

第16回日本ジャンボリーは、皆さんご存じの通り、第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーとして開催される他、2015年に開催される第23回世界スカウトジャンボリーのプレ大会としても位置づけられています。

第16回日本ジャンボリーには日本全国から参加者約1万2千人が予定されているほか、外国からも約1,500人の参加が予定されています。このような大規模な大会の運営を支えるのが、皆さん、つまりI S Tなのです。

今大会のI S Tは、日本全国のローバースカウト・指導者の皆さんの他、第23回世界スカウトジャンボリーでI S Tの対象となる高校生年代のベンチャースカウト、そして外国からの参加も予定されています。I S Tとして大会に参加することは、単に大会に奉仕するだけではなく、日本全国、そして世界へと仲間の輪を広げ、見聞を広げる絶好の機会となるはずです。

I S Tカタログとは

「I S Tカタログ」とは、大会に奉仕するスカウト及び成人指導者が、この大会を理解して配属を希望する業務選択を行うために作成された大会の「業務一覧表」です。「各部の業務について」の章で、大会各部の業務内容を詳しく説明していますので、その内容について良く理解した上で、自分に合った部署を選択することをおすすめします。また、初めての業務であってもスカウトの仲間と一緒に奉仕しますので心配することはありません、新しい体験も良いものです。

どの業務も大会運営に必要で大切な仕事です。皆さんの力で16NJを成功させるように協力をお願いします。そのためにはI S Tカタログを活用して、ジャンボリーでの生活や希望部署の申込方法を良く理解して早めに準備して下さい。

ただし、希望が偏った場合などには、必ずしも全ての皆さんの希望を叶えることが出来ません。その場合にもぜひ「スカウト」として、配属された業務の運営にご協力をお願いします。

¹ JMT: ジャンボリー・マネージメントチーム、JCT: ジャンボリー・コアチーム、JDT: ジャンボリー・デリバリーチームを指します。これらのチームは、大会前から大会の計画・運営について主体的に携わります。詳しくは大会基本実施要領の20頁をご参照下さい。

第16回日本ジャンボリーについての概要

日本ジャンボリー（NJ）は、国内と海外からの参加スカウトが、「ちかいとおきて」と「スカウト教育法」の実践を通じた質の高い活動を展開し、併せてジャンボリーならではのプログラム活動に参加することにより新たな発見や感動を体感し、スカウト同士の友情の絆を結び、国際感覚を高揚させ、世界平和を始めとする地球規模の課題について考える機会を提供する等、青少年の自律的成長を促すことを目的に、我が国のスカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。

第16回日本ジャンボリー（16NJ：16th Nippon Jamboree）は、第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ：23rd World Scout Jamboree）を平成27年（2015年）に山口県きらら浜でホスト開催することが決まったため、従来の4年周期を1年早め、前回大会の3年後、そして23WSJの2年前となる平成25年（2013年）に23WSJプレジャンボリー（リハーサル大会）として開催することになりました。

また、16NJでは23WSJに向けて、より多くの国、そして文化を迎えた国際大会とするため、第30回アジア太平洋地域ジャンボリー（30APRSJ：30th Asia-Pacific Regional Scout Jamboree）として開催することになりました。

これらを踏まえ、本大会は23WSJに向けて取り組むべき課題や展望を検証する機会とするとともに、地域社会、関係組織、諸団体と連携して展開することにより、スカウト運動が社会において果たすべき役割や、その具体的な活動を社会に広くアピールし、本運動の一層の躍進を図る契機とします。

そのため、本大会では従来のNJで培った要素に新たな取り組みを加え、世界のスカウト加盟員のみならず、日本のすべての青少年に世界的な活動を経験できる機会を提供します。

今回の特徴として、次のことがあげられます。

- 23WSJと同じ会場、時期、運営で、23WSJ計画に沿った活動が提供されます
- 参加者の対象が従来の大会より拡大され、より多くの青少年が参加できます
- 異年齢の青少年による班活動が重視されます
- ジャンボリーに参加できない青少年には、ジャンボリーの活動を経験できる「ジョイン・イン・ジャンボリー」プログラムが提供されます
- 派遣団としてのプログラム提供等、運営への参画ができます
- 世界スカウト機構と各国連盟派遣団長が調査のために大会を訪問し、23WSJに向けた検証と分析が行われます

テーマ

「和」～ WA: a Spirit of Unity ～

16NJは、平成27年（2015年）に山口県きらら浜で開催される23WSJのプレ大会であることから、23WSJと同一テーマとなっています。

23WSJは、伝統（tradition）と技術（technology）が交差する日本で、人類の平和（peace）と調和（harmony）をめざし、すべての青少年が一つにまとまり（unity）、明日の世界を切り開く（creating a better world）大会とするため、漢字の「和」が大会テーマとなりました。

日本語で漢字の「和」は、まとまり（unity）、調和（harmony/ a spirit of unity）、協調（harmony）、仲むつまじさ（friendship）、平和（peace）、合計（the sum）、そして「日本」を意味する文化的概念を意味しています。

コンセプト

大会テーマの「和」～WA: a Spirit of Unity～ は次の3つのコンセプトを通じて達成されます。
また、23WSJの導入として16NJでは「コンセプト」を加えています。

(1) 力：エネルギー (Energy)

～青少年の活力とスカウト運動の原動力を表す力～

スカウト運動が青少年の「知的」・「身体的」・「社会的」・「精神的」・「情緒的」成長を導き、この原動力に青少年の活力が結びつくことにより、社会に役に立つ力を高めます。

(2) 革新：イノベーション (Innovation)

～伝統と技術が交差し生み出す革新～

歴史の中で育まれた伝統と、新たな科学技術が交差することにより、青少年に新たな気付きを与えます。

(3) 調和：ハーモニー (Harmony)

～人類の平和に向かって多様性を理解する調和～

文化、人種、宗教、価値観、生活様式等の違いを互いに認め、尊重し、多様性を理解することにより人と人の調和を生みだします。

(4) 16NJ/30APRSJのコンセプト

23WSJのプレジャンボリーとして、23WSJの導入を行い、完成度を高めるため、「コミュニケーション (Communication)」を今大会のコンセプトに加え、相互信頼を確立します。

会期・日程

平成25年(2013年)7月31日(水)～8月8日(木)9日間

- * 世界スカウトジャンボリーの大会期間表記に合わせ、入場日と退場日を含む
- * 大会運営スタッフの入場は7月29日とする
(大会運営スタッフは、JMT、JCT、JDT、ISTにより構成される)
- * 23WSJより3日短く、15NJと同日数とする

7月29日(月) 大会運営スタッフ入場

7月30日(火) ISTトレーニング

7月31日(水) 参加者入場・設営

8月1日(木) 参加者入場(午前まで)・設営・開会式

8月2日(金) プログラム(モジュール)

8月3日(土) プログラム(モジュール)・交代参加者(後半)入場日

8月4日(日) プログラム・全体行事・交代参加者業務引継日

8月5日(月) プログラム(モジュール)・交代参加者(前半)退場日

8月6日(火) プログラム(モジュール)

各国連盟・県連盟代表の広島平和記念式典等への参加

8月7日(水) プログラム(モジュール)・閉会式

8月8日(木) 参加者退場

8月9日(金) 大会運営スタッフ退場

高校生年代の I S T (V S - I S T) について

「平成24年8月31日付 全県連盟宛文書445号(J)」でお知らせしておりますように、今回の大会では平成27年(2015年)に日本で開催される第23回世界スカウトジャンボリーを見据えて、平成25年7月28日時点で16歳以上のベンチャースカウト(23WSJ開会式時点で18歳、以下VS)は、I S Tとして参加出来ます。

本来、I S Tは開会式時点で18歳以上の者を対象としていますが、16NJでは、23WSJにおけるI S T養成を目的に16歳以上のVSも対象としています。

高校生年代のベンチャースカウトがI S Tとして参加するにあたり、多数のお問い合わせを頂いております。確定申込に向けて、より多くのベンチャースカウトがI S Tとして参加頂けるよう、以下ご確認の上、ご周知頂きますようよろしくお願いいたします。

1. V S - I S T の入退場日について

V S - I S Tはベンチャースカウトではありますが、大会においては大会運営スタッフ(I S T)ですので、他のスタッフ同様、7月29日(月)に入場する必要があります。退場日は8月9日(金)となります。また、V S - I S Tの期間中の交代参加は認められておりません。

2. V S - I S T の生活について

高校生年代のI S T (V S - I S T) については他の成人のI S Tとは別に設置されるV S - I S T用のサブキャンプで、各派遣団ごとに生活することとなります。

生活地域の詳細

- ・テント ---- 一般のI S Tに準じます
(ただし成人生活エリア内のV S - I S T独立サイトでの生活となります)
- ・引率指導者の宿泊 ---- V S - I S T生活エリア側の成人生活エリア
- ・男女の生活エリアの区分 ---- 男女別のテントとなるよう、調整をお願いします
- ・生活と業務はV S - I S Tの班単位が基準となります

3. V S - I S T の業務について

- ・複数の業務を経験してもらうため、前半と後半で異なる業務を行います。8月4日(日)を挟んで、他部の業務に交代することを原則とします
- ・V S - I S Tの班は各部配属後、複数の業務を分担することがあります
- ・引率指導者はヒューマンリソーシス部員として、V S - I S Tとは異なる業務を行います(成人生活エリアの管理、他部の支援等)

4. 進歩課程との関連

- ・ジャンボリー参加前に、自隊の隊長と取り組み可能なプロジェクトや、信仰奨励章・宗教章の取得へ 向けた取り組みについて相談することを推奨します

I S Tの生活などについて

入退場日程（案）

I S T（V S-I S Tを含む）は大会運営スタッフとして、7月29日（月）入場、8月9日（金）退場を原則とします。なお下記の入退場時間は今後の調整の結果、変更する場合があります。

入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は、今後の情報を参照ください。

【会場到着日時】大会運営スタッフ：7月29日（月）9時～12時まで
参加隊：7月31日（水）9時～17時まで
交替参加者（後半参加）：8月3日（土）（時間は今後調整）

【会場出発日時】交替参加者（前半参加）：8月5日（月）（時間は今後調整）
参加隊：8月8日（木）9時～12時まで
大会運営スタッフ：8月9日（金）9時～12時まで

生活エリア

今大会における大会本部要員（I S T）の生活は、原則として成人生活エリアにおいて各県連盟派遣団ごと（外国の場合は国派遣団ごと）となります。V S-I S Tについては前頁をご参照下さい。

I S Tの食事は自炊ではなく、本部食堂（アダルトレストラン）で取ることとなります。大会運営スタッフ（I S T）としての参加費には以下の内容が含まれます。

I S Tの日課は配属される各部の業務によって大きく異なりますので、詳細は配属調整後に連絡される予定です。

参加費に含まれる費用

- ・ 7月29日夕食から8月9日朝食までのアダルトレストラン等での32食
- ・ I Dカード、大会参加章（ワッペン）、大会ネッカチーフ（参加区分により色が異なる）、大会ハンドブック等の参加パック
- ・ 大会期間中のジャンボリーホスピタルでの処置（既往症が悪化した場合を除く）
* 場外病院での治療、薬代は大会参加費に含まない。これらは、各派遣団が海外旅行傷害保険あるいは国内旅行傷害保険の付保を強く勧めることで対応する。

I S Tトレーニング

全てのI S Tは、事前に実施されるセーフ・フロム・ハーム トレーニングと、7月30日に実施される予定のI S Tトレーニングに参加する必要があります。遅参する場合の対応等と併せ、詳細は今後の情報をご参照下さい。

確定申込における配属希望部署の選択

ジャンボリー参加に係わる登録は全て各県連盟派遣団を通じて行われます。

大会に参加を予定している I S T は、従来の大会と同様、確定申込に併せて配属を希望する部署を所属県連盟を通じて提出することが出来ます。確定申込時に希望部署が記載されていない場合は、大会として重要と判断する部署に配属します。また、希望を提出頂いた場合でも、全体としての希望の偏りなどから、希望とは異なる部署に配属されることもあることをご承知おき下さい。また、全体での調整の都合上、確定申込では第1希望～第3希望での選択は、必ず3つの異なる部から選択して下さい。

確定申込時の配属希望の選択については、予定申込時に配属希望を提出されている方と、そうでない方（予定申込を行っていない方、予定申込時に希望を選択していない方など）に大別されます。

配属の調整は専門技術をお持ちの方、予定申込で希望されていた方を優先して配属調整を行いますが、いずれの場合も全体のバランスを検討しての調整であるため、必ずしも希望として提出した部に配属されるわけではないことを予めご了承下さい。

調整の結果は5月下旬頃から、各県連盟派遣団に対して通知を行う予定です。

I. 予定申込時に配属希望選択を行った方

1. 予定申込時の配属希望の部について変更がない場合

予定申込時に提出して頂いた段階から、配属を希望する部の変更がない場合は、確定申込時には特段の作業を行う必要はありません。確定申込画面に記載されている内容が希望通りかどうか確認し、そのまま提出して下さい。ただし、配属を希望する部の専門技術等による配属を希望される場合は、該当部署の専門技術を選択して下さい。この場合も部・業務の選択は、必ず3つの異なる部から選択して下さい。例えば、派遣団サポート（専門）、派遣団サポート（一般）、サブキャンプという選択が行われていた場合、重複して希望が表れる第2希望については割愛し、第1希望と第3希望で配属を調整します。

配属を希望する部の変更がなかった場合、確定申込時に新たに希望を選択した人と比較して、優先的に配属を調整します。

※予定申込で「一般参加」「ジョイン・イン・ジャンボリー/W T W」を選択した方は、「ゲストサービス部」を選択し、備考4の欄に「一般参加」あるいは「ジョイン・イン・ジャンボリー/W T W」希望と記載してください。

2. 予定申込から配属希望の部を変更したい場合

なんらかの事情で予定申込時の希望から配属希望先を変更したい場合は、新たな配属希望先を選択してください。この場合も部・業務の選択は、必ず3つの異なる部から選択して下さい。配属希望を変更する場合の配属調整は、予定申込者としての優先的な配属ではなく次項 II で示す方と同様の優先順となります。

(ア) 改めて配属希望（第1～第3）を選択します。予定申込時に選択したのと同じ部を選ぶことも可能ですが、その際、各部の名称の横に【定員】の標記がある場合は、人気が高い部のため配属の可能性が低いことを示していますので、何卒ご理解下さい。

(イ) 第1希望～第3希望での選択は、必ず3つの異なる部から選択して下さい。異なる業務であっても複数の希望を1つの部から選択することは出来ません。

予定申込で希望していた人と予定申込では希望していなかった人が配属調整の対象となった場合には、原則として予定申込時に希望があった人を優先して配属します。なお配属調整は全体のバランスを検討しての調整であるため、必ずしも希望として提出した部に配属されるわけではないことを予めご了承下さい。

II. 予定申込を行っていない方、予定申込で配属先希望を選択していない方

配属を希望する部を第1希望～第3希望で選択して下さい。その際、3つの希望は必ず3つの異なる部から選択をして下さい。異なる業務であっても複数の希望を1つの部から選択することは出来ません。

提出された希望は最大限尊重しますが、全体のバランスを検討しての調整であるため、必ずしも希望通りの部に配属されるわけではないことを予めご了承下さい。また、予定申込で希望していた人と確定申込で新たなに配属を希望した人が同時に配属調整の対象となった場合には、原則として予定申込があった人の希望を優先しますので、予めご了承下さい。

1. 配属希望（第1～第3）を選択します。この際、各部の名称の横に【定員】の標記がある場合は、人気が高い部のため配属の可能性が低いことをご理解下さい。
2. 第1希望～第3希望での選択は、必ず3つの異なる部から選択をして下さい。仮に複数の業務が一つの部から選択されていた場合、二つ目以降の希望については希望の記入がなかった場合と同様に扱いますので、ご注意下さい。例えば、第1希望：派遣団サポート（専門技術：外国派遣団サポート担当）、第2希望：派遣団サポート（一般配属）、第3希望：サブキャンプという選択が行われていた場合、重複した部の選択が行われている第2希望については割愛し、第1希望と第3希望で配属を調整します。

III. VS-I STに関する選択

1. 高校生年代のI ST（VS-I ST）

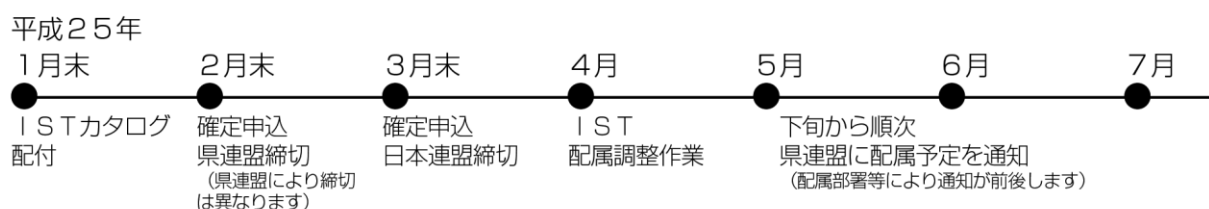
高校生年代のI ST（VS-I ST）については、配属希望欄のうち第1希望のみ「VS-I ST」を選択して下さい。VS-I STについては、ヒューマンリソース部から一括して配属先を調整しますので、その他の選択は不要です（配属希望を選択頂いても、反映されません）。

2. VS-I STの引率指導者

VS-I STの引率指導者についても、VS-I STと同様、ヒューマンリソース部で一括して調整しますので、第一希望のみ「VS-I ST引率指導者」を選択して下さい。

VS-I ST引率指導者は、VS-I STの配属先との調整、成人サブキャンプの管理の業務などを中心に、ヒューマンリソース部が調整する業務を行います。

I ST確定申込と配属調整に関する予定



各部の業務について

I S Tは確定申込時に、以下の業務の中から配属を希望する業務を3つ選択することができます。

ただし、繰り返しになりますが、第1希望～第3希望での選択は必ず3つの異なる部から選択をして下さい。異なる業務であっても複数の希望を1つの部から選択することは出来ません。例えば、第1希望：派遣団サポート（専門技術：外国派遣団サポート担当）、第2希望：派遣団サポート（一般配属）、第3希望：サブキャンプという選択が行われていた場合、重複した部の選択が行われている第2希望については割愛し、第1希望と第3希望で配属を調整します。

業務選択 コード及び名称一覧

J-01-00 派遣団サポート部【定員】	IST配属予定数	50～80人
J-01-01 外国派遣団サポート担当		
J-01-02 同時通訳・翻訳		
J-01-50 ホームステイ部	IST配属予定数	数人～10人
J-02-00 サブキャンプ部	IST配属予定数	80～150人
J-02-02 外国隊配属サブキャンプスタッフ		
J-03-00 ヒューマンリソース部	IST配属予定数	30～50人*
J-04-00 ゲストサービス部	IST配属予定数	30～60人
J-05-00 マーケティング・コミュニケーション部	IST配属予定数	50～120人
J-06-00 情報通信技術部	IST配属予定数	50～100人
J-07-00 オンサイト(場内)プログラム部	IST配属予定数	400～645人
J-07-01 派遣団提供プログラム(地球開発村)		
J-07-02 派遣団提供プログラム(クロスロード・オブ・カルチャー)		
J-07-03 派遣団提供プログラム(シティ・オブ・サイエンス)		
J-07-50 宗教部	IST配属予定数	20～35人
J-08-00 オフサイト(場外)プログラム部	IST配属予定数	50～110人
J-09-00 広島ピースプログラム部	IST配属予定数	20～50人
J-09-01 外国参加者対応係		
J-10-00 セレモニー部	IST配属予定数	40～60人
J-11-00 安全・救護部	IST配属予定数	180～210人
J-11-01 医師・看護師		
J-12-00 会場運営部	IST配属予定数	70～100人
J-13-00 輸送部	IST配属予定数	100～160人
J-14-00 配給・食堂(フード)部	IST配属予定数	80～110人
J-14-01 調理師・衛生管理者		
J-14-50 販売サービス部	IST配属予定数	45～70人
J-14-51 衛生管理者		

*ヒューマンリソース部の配属予定数には高校生年代のI S Tおよびその引率指導者は含まず

*予定申込にあった「一般参加」「ジョイン・イン・ジャンボリー/W T W」は、確定申込では「ゲストサービス部」に組み込んでいます。

【定員】 J-01-00 派遣団サポート部

各県連盟および各国連盟からの派遣団へのサポートを行います。スカウト経験の豊富な方、英語もしくはその他の言語でコミュニケーションのとれる方を歓迎します。

【この部への配属を希望する場合】

予定申込において、すでにこの部への配属希望人数は配属予定数を上回っています。そのため、予定申込時に第1希望で派遣団サポート部を希望していた場合と、以下の専門技術による配属希望の場合を除き、確定申込で新たに派遣団サポート部を希望頂いても、原則として配属されません。

予定申込時に派遣団サポート部を希望していて引き続き配属を希望する人と、専門技術（J-01-01以降の選択肢）による派遣団サポート部への配属を希望する人は、配属先希望で「派遣団サポート部」を選択して下さい。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-01-00	派遣団サポート部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> 各県連盟および各国連盟派遣団の窓口となって大会の情報提供や問題解決を行う 派遣団長会議の運営 オペレーションきららによる招聘事業で参加している隊の調整 プレ大会スタディビジット(23WS J各国派遣団長の調査訪問)への対応 APR (ワールド) スカウトセンターの運営
専門技術等による配属希望		
J-01-01	外国派遣団 サポート担当	英語もしくはフランス語で、外国派遣団との調整を行う。 【要件】 <ul style="list-style-type: none"> ビジネスレベル以上の外国語（英語、仏語など） 【注】 この業務を選択する場合、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。（例：英検準1級、TOEIC750 など）
J-01-02	同時通訳・翻訳	派遣団長会議等における進行で外国派遣団へ向けた同時通訳や、会議の記録や重要な情報を伝達する際に英語・フランス語の文書を作成します。 【要件】 <ul style="list-style-type: none"> 英語、フランス語での同時通訳の経験のある方、もしくは翻訳、口実速記等の経験がある方。 【注】 この業務を選択する場合、専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。

J-01-50 ホームステイ部

外国からの参加者のホームステイに関する調整を行います。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-01-50	ホームステイ部 (一般配属)	・ ホームステイに関する調整

J-02-00 サブキャンプ部

サブキャンプ（SC）に配属される全ての参加者のために生活の場を築き、全員が参加することができるサブキャンプ活動（プログラム）を提供します。参加隊・参加スカウト・引率指導者と大会との窓口となり、参加者の様々な問題に対応し、SCの運営、SCスタッフの役割分担、参加隊指導者の任務分担の実施を行うほか、複数のSCに共有施設として設置されるハブの維持・管理や、SCライフ、SCプログラム等を含みます。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-02-00	サブキャンプ部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各サブキャンプ、ハブの管理・運営、問題点の把握と解決 ・ サブキャンププログラムの支援 ・ サブキャンプ内の施設の維持、管理 ・ 派遣隊の入退場への支援 ・ 派遣隊の生活に関する支援（配給やインフラに関する業務を含む）
専門技術等による配属希望		
J-02-01	外国隊配属 サブキャンプ スタッフ	<p>外国隊も含まれるハブのサブキャンプスタッフです。英語もしくはその他の言語(大会への参加が予想される国の言語)でコミュニケーションが出来ることが望まれます。外国からの参加者の生活支援やサブキャンププログラムの支援などを行います。</p> <p>【要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスレベル以上の外国語（英語、仏語など） <p>【注】この業務を選択する場合、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。（例：英検準1級、TOEIC750 など）</p>

J-03-00 ヒューマンリソース部

日本および世界からの大会運営スタッフ2千人以上を集め、各部への配属を行うとともに、大会運営スタッフの生活サイト、プログラム等を提供します。とくに英語もしくはその他の言語でコミュニケーションがとれる方を歓迎します。

【この部への配属を希望する場合】

この部への配属を希望される方は、確定申込の配属欄で「J-03-00 ヒューマンリソース部」を選択して下さい。

* 予定申込では、高校生年代のIST (VS-IST) とVS-ISTの引率指導者について、ヒューマンリソース部を選択するようでしたが、確定申込ではそれぞれ「VS-IST ベンチャーIST」「VL-IST ベンチャーIST 引率指導者」を選択して下さい（詳細については本紙9ページ III.2 参照）。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-03-00	ヒューマンリソース部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISTの配属調整・研修・訓練 ・ 成人向けプログラムの提供 ・ VS-ISTに関係すること ・ 成人サブキャンプの管理・運営 ・ ジャムホテル (JamHotel: 場内有料宿泊テント) の管理・運営

J-04-00 ゲストサービス部

デイビジター (一日見学) への対応、ゲストに関する全ての手配、各派遣団レセプションのコーディネート、場外宿泊施設の運営等を行います。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-04-00	ゲストサービス部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学者受付 ・ 見学者案内 (見学者に対する、会場内ツアーの実施、案内所での対応など) ・ 来賓対応 (受付、接待、会場案内、アリーナ案内など) ・ 会場内で実施されるレセプションの運営 (4つのレセプション運営、お茶会・昼食会の運営など)

J-05-00 マーケティング・コミュニケーション部

大会期間中はウェブサイトの運用、メディアセンターの運営、ジャンボリー新聞の発行、スカウト通信員プログラムの運営など、大会広報全般を担います。特別な専門技能等を持たなくても、元気に会場内を歩き回れるような I S T を歓迎します。また、23WSJでも I S T としての活動を希望するローバーなども歓迎します。

また、以下のような専門技能をお持ちの方、ぜひ力をお貸しください。

- ・ ビジネスレベル以上の外国語（英語、仏語、その他の言語）
- ・ D T P の経験者：編集ソフト（InDesign, Illustlator, Photoshop など）の操作ができる人
- ・ 記事の編集・校正の経験者（大会新聞の作成）
- ・ Ustream や Youtube などに詳しい人
- ・ 映像編集ソフト（Premiere, Avid など）の操作ができる人
- ・ ホームページ制作経験者：HTML、C S S に関する一般的な知識を有する人

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-05-00	マーケティング・コミュニケーション部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会新聞の発行 ・ 大会ウェブサイトの運用 ・ メディアセンターの運営 ・ 報道機関の取材への対応 ・ スカウト通信員プログラムの運営 ・ 大会の動画配信に関すること ・ 大会の映像記録に関すること ・ メモリーパッケージの制作

J-06-00 情報通信技術部

大会期間中は、コンピューターネットワークの構築、インターネットカフェと電話の運用、チェックインセンターやインフォメーションセンターを運用します。コンピューター（特にデータベース等）の得意な方、通信関係の業種の関係者などを特に歓迎します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-06-00	情報通信技術部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェックインセンターにおける参加者等の受付 ・ 会場内の各種情報ネットワークの維持・管理 ・ 会場内インフォメーションセンターでの対応

J-07-00 オンサイト（場内）プログラム部

ジャンボリー会場（きらら浜）で行われるプログラムを計画し運営します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-07-00	オンサイト（場内） プログラム部 （一般配属）	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムを提供する派遣団、団体、企業等への運営面でのサポート ・ 「フリータイムアクティビティ」プログラムの運営及び実施
派遣団提供プログラム関係業務（各県連盟派遣団で担当と決まっている人のみ選択できます）		
J-07-01	派遣団提供 プログラム （地球開発村）	地球開発村（GDV）における県連盟派遣団提供プログラムの担当者。所属する県連盟派遣団とプログラム部との調整を行い、プログラムの計画・準備・実施を担当する。 【要件】 ・各派遣団でこのプログラムを担当する人に限ります。
J-07-02	派遣団提供 プログラム （クロスロード・ オブ・カルチャー）	クロスロード・オブ・カルチャー（CRC）における県連盟派遣団提供プログラムの担当者。所属する県連盟派遣団とプログラム部との調整を行い、プログラムの計画・準備・実施を担当する。 【要件】 ・各派遣団でこのプログラムを担当する人に限ります。
J-07-03	派遣団提供 プログラム （シティ・オブ・ サイエンス）	シティ・オブ・サイエンス（COS）における県連盟派遣団提供プログラムの担当者。所属する県連盟派遣団とプログラム部との調整を行い、プログラムの計画・準備・実施を担当する。 【要件】 ・各派遣団でこのプログラムを担当する人に限ります。

【注意事項】

- ・ J-07-01、J-07-02、J-07-03 の3つの業務については、すでに各県連盟派遣団において、業務担当として依頼されている場合に限ります。

J-07-50 宗教部

参加者が自身の信仰に基づいた生活を行うと共に、他の様々な信仰について知る機会を提供します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-07-50	宗教部 （一般配属）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な信仰奨励の機会、信仰や宗教に関する情報の提供 ・ 宗教儀礼の実施、世界の様々な信仰に触れる機会の提供 ・ 信仰に基づくカウンセリングの実施等

J-08-00 オフサイト（場外）プログラム部

オフサイト（場外）で行われる地域社会奉仕（Community Service）、水上プログラム（Water Activities）、自然探求（Nature Exploring）の3つの場外プログラムの運営を行います。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-08-00	オフサイト（場外）プログラム部 （一般配属）	・ オフサイト（場外）で行われるプログラムの企画・運営

J-09-00 広島ピースプログラム部

広島ピースプログラムと各国連盟代表スカウトの広島平和記念式典参加を担当し運営します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-09-00	広島ピースプログラム部 （一般配属）	・ 広島ピースプログラムの運営
専門技術等による配属希望		
J-09-01	外国参加者対応係	外国スカウトの参加に掛る、きらら浜から広島市内までの移動や公園内での案内や誘導業務に加え、問題発生時の対応を担当する。 【要件】 ・日本語と英語でプログラムの内容を説明するのに必要な会話ができること 【注】 この業務を選択する場合、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。（例：英検2級、TOEIC600など）

【注意事項】

- ・ 広島ピースプログラムの業務については8月3日（土）に集中するため、他部の業務との調整を行う場合があります。

J-10-00 セレモニー部

ジャンボリー会場のメインステージと他のすべてのステージで行う催しを運営します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-10-00	セレモニー部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式、中日に行われる全体行事、閉会式、デイビジターへのショーを計画、実施 ・ ジャンボリーソングの企画・審査 ・ セレモニー出演者の選考 ・ アリーナの運営

J-11-00 安全・救護部

参加者や訪問者など、ジャンボリーに係わる全ての人の健康と安全を保持し、安心して過ごせる環境を整えることを業務とします。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-11-00	安全・救護部 (一般配属)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理指導（セキュリティーを含む） ・ ゲートの管理、会場の警備等 ・ セーフ・フロム・ハームの取り組み推進とカウンセリング ・ 危機管理（ガイドライン提供と実施） ・ ジャンボリー救護所、ハブ救護所等の設置と運営 * 危機管理・防災、緊急退避に関すること (企業等の危機管理業務経験者) * 参加者のカウンセリングに関すること カウンセラー、カウンセリング能力のある方 <p>【注】「*」マークのついた業務を選択する場合、専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。</p>
専門技術等による配属希望		
J-11-01	医師・看護師	<p>救護所の運営に関すること</p> <p>【要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各科の医師、看護師、薬剤師、医療技術資格者、看護・医療系の学生 <p>【注】この業務を選択する場合、専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。</p>

J-12-00 会場運営部

会場運営部は、会場内施設（構築物・トイレ・シャワー・給排水・電気・通信・道路）の期間中の管理運営と、各種共有資材の貸出などを主たる業務として担当する部であり、「参加者が快適に過ごせるジャンボリー会場の設計と管理運営」を担当します。16NJ参加者が使いやすい環境・条件づくりや、期間中のトラブル発生時の迅速な対応を意識した各種業務を行ないます。

体を動かすことが好きな方、体力に自信のある方、スカウト活動経験の豊富な方を特に歓迎します。

また、インフラ関係業種の経験者、専門技術等による配属希望欄に記載している分野を専攻する学生なども歓迎です。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-12-00	会場運営部	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンボリー会場および関連場外施設の借用、会場設計 ・ 会場設備等の設営と撤営、運営管理、補修・修繕 ・ マーキー、テント、キャビンの手配、管理 ・ ジャンボリーの運営に必要な電気、水道、ゴミ処理等の全てのサービスの提供 ・ 会場内のインフラの整備、維持 ・ 補修・修繕作業の支援 ・ 貸与資材・レンタル品の蔵出し、蔵入れ作業 <p style="text-align: center;">・・・・・・・・・・＜以下の経験者・有資格者も歓迎＞・・・・・・・・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> * 建設・建築工事経験者 道路・トイレ・シャワー等施設の統括管理と補修などの業務 * 水道工事経験者・有資格者 給排水設備の管理・補修などの業務 * 電気・通信工事経験者・有資格者 電源設備・配線・照明器具、通信設備の管理・補修に関する業務 * 燃料・塵芥・尿尿関係経験者 発電機等の燃料補給、塵芥・尿尿の収集に関する業務 <p>【注】「*」マークの専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。</p>

J-13-00 輸送部

大会における人員と物資の輸送を担当します。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-13-00	輸送部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣団の集散バス等、集散時における会場への入退場交通管制 ・ 外国参加者を対象とした到着地点から会場までと、会場から出発地点までの交通手配 ・ 場外プログラムバスの運用 ・ 駐車場の管理 ・ 自転車を含む会場内で利用する車両の手配・運用

J-14-00 配給・食堂（フード）部

サブキャンプに配属される全参加者への食料提供、本部員・I S T用の大会運営スタッフのレストラン運営、ケータリング、ジャンボリー前後の食事提供を行います。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-14-00	配給・食堂 （フード）部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会本部食堂の運営 ・ 各サブキャンプにおける食料・炊事用燃料の配給
専門技術等による配属希望		
J-14-01	調理師・ 衛生管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会本部食堂の配膳作業 ・ 本部食堂、配給作業の衛生管理 <p>【要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理師、山口県の食品衛生管理者、飲食業従事者など <p>【注】この業務を選択する場合、専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。</p>

J-14-50 販売サービス部

売店やスカウトショップなどの設置や運営に関する業務を行います。

【この部の主な業務】

	業務名	業務内容、必要な技術・資格等
J-14-50	販売サービス部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般売店、スーパーマーケット、フードハウスのコーディネート ・ 銀行、郵便局、写真、ランドリー、スカウトショップ、その他の出店調整
専門技術等による配属希望		
J-14-51	衛生管理者	一般売店（飲食）の管理・指導に関すること フードハウスの運営に関すること 【要件】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理師、山口県の食品衛生管理者 【注】 この業務を選択する場合、専門技術をお持ちの方は、該当の専門技術欄で「Y」を選択し、「専門技術 その他」欄にお持ちの資格名等を記載して下さい。

以上